

Job

Chapter 27

Japanese Interlinear

Reference: Japanese Kougo-yaku (1954/1955)

וַיֹּאמֶר׃ מְשָׁלוֹ שָׂאת אִיּוֹב וַיִּסַּף 1
そして-言った その-言葉-を 取り上げて ヨブ-は そして-続けた
[H0559](#) [H4912](#) [H5375](#) [H0347](#) [H3254](#)

ヨブはまた言葉をついで言った、

הִמַּר וְשָׂרִי מִשְׁפָּטִי הִסִּיר אֵל חַי־ 2
苦しめた そして-全能者-が わたしの-正義-を 退けた 神-に-かけて 生きておられる
[H4843](#) [H7706](#) [H4941](#) [H5493](#) [H0410](#)
נַפְשִׁי׃
わたしの-魂-を
[H5315](#)

「神は生きておられる。彼はわたしの義を奪い去られた。全能者はわたしの魂を悩まされた。

אֱלֹהֵי וְרוּחַ בִּי נִשְׁמָתִי עוֹד כֹּל- כִּי- 3
神-の そして-霊-が わたし-の-中-に わたしの-息-が なお すべて-の なぜなら
[H0433](#) [H7307](#) [H5397](#) [H5750](#) [H3605](#)
בְּאִפִּי׃
わたしの-鼻-の-中-に
[H0639](#)

わたしの息がわたしのうちにあり、神の息がわたしの鼻にある間、

רְמִיָּה׃ יְהִנֶּה אִם- וְלִשׁוֹנִי עוֹלָה שִׁפְתַי תְּדַבְּרֶנָּה אִם- 4
偽り-を つぶやく ない そして-わたしの-舌-が 不義-を わたしの-唇-が 語る ない
[H1897](#) [H3956](#) [H8193](#) [H1696](#)

わたしのくちびるは不義を言わない、わたしの舌は偽りを語らない。

אֲנֹנֶּה עַד- אֲתַקֶּם אֲצַדִּיק אִם- לִי חֲלִילָה 5
息絶える-まで まで あなたがた-を 正しい-とするなら もし わたし-には 断じて-ありえない
[H1478](#) [H5704](#) [H0853](#) [H6663](#) [H2486](#)
מִמְנִי׃ תִּמְתָּי אֲסִיר לֹא- 6
わたし-から わたしの-誠実-を 退けない ない
[H8538](#) [H5493](#) [H3808](#)

わたしは断じて、あなたがたを正しいとは認めない。わたしは死ぬまで、潔白を主張してやめない。

לִבִּי יִחַרֶּף לֹא- אֲרַפֶּה וְלֹא- הִחֲזַקְתִּי בְּצַדִּיקְתִּי 6
わたしの-心-は 責めない ない 手放さない-それ-を そして-ない しがみついた わたしの-正義-に
[H3824](#) [H3808](#) [H7503](#) [H3808](#) [H2388](#) [H6666](#)
מִיָּמִי׃
わたしの-日々-の-うち-の
[H3117](#)

わたしは堅くわが義を保って捨てない。わたしは今まで一日も心に責められた事がない。

וְאֵלְמַנְתָּיו (שְׂרִידוֹ) [שְׂרִידוֹ] 15
 して-その-寡婦-たちは 葉られる 死-に-よって (その-生き残り-たちは) [その-生き残り-たちは]
 H0490 H6912 H4194 H8300 H8300

לֹא תִבְכְּיָנָהּ:
 泣かない ない
 H1058 H3808

その生き残った者は疫病で死んで埋められ、そのやもめらは泣き悲しむことをしない。

אִם- יִצְבֹּר כְּעָפָר כֶּסֶף וְיָבִין מִלְבוּשׁ: 16
 衣服-を 整えても そして-粘土-の-ように 銀-を 塵-の-ように 積み上げても たとえ
 H4403 H3701 H6083 H6651

たとい彼は銀をちりのように積み、衣服を土のように備えても、

יָבִין וְצָדִיק יִלְבָּשׁ וְצָדִיק וְיָבִין 17
 分け取る 潔白な-者-が そして-銀-を 着る そして-正しい-者-が 整えても
 H3701 H3847 H6662

その備えるものは正しい人がこれを着、その銀は罪なき者が分かち取るであろう。

בָּנָה כָּעֵשׂ בֵּיתוֹ וְכִסְכָּה עָשָׂה נָצַר: 18
 番人-が 造った そして-仮小屋-の-ように その-家-を 蛾-の-巢-の-ように 建てた
 H5341 H5521 H1129

彼の建てる家は、くもの巣のようであり、番人の造る小屋のようである。

עָשִׂיר וְשָׂכַב וְלֹא יֵאָסֵף עֵינָיו פָּקַח וְאֵינָנוּ: 19
 富んだ-者-は 横たわる して-ない 集められない その-目-を 開いた して-いなかった
 H0369 H6491 H0622 H3808 H7901 H6223

彼は富める身で寝ても、再び富むことがなく、目を開けばその富はない。

תִּשְׁגָּהוּ בְּמַיִם בְּלֵהוֹת לַיְלָה וְנִבְתָּו סוּפָה: 20
 追いつく-彼-を 水-の-ように 恐怖-が 夜-に 盗んだ 嵐-が-彼-を
 H1589 H3915 H1091 H4325 H5381

恐ろしい事が大水のように彼を襲い、夜はつむじ風が彼を奪い去る。

וְשָׂאָהּ קָרִים וְיָלָה וְיָשְׁעָהּ מִמָּקוֹמוֹ: 21
 運び去る-彼-を 東風-が して-去る して-吹き飛ばす-彼-を 其-場所-から
 H4725 H3212 H6921 H5375

東風が彼を揚げると、彼は去り、彼をその所から吹き払う。

וְיִשְׁלֹךְ עָלָיו וְלֹא יִחְמַל מְיָדוֹ בְּרוּחַ יִבְרַח: 22
 して-投げつける 彼-に して-ない 惜しまない 其-手-から 逃げて 逃げる
 H1272 H1272 H3027 H2550 H3808 H7993

それは彼を投げつけて、あわれむことなく、彼はその力からのがれようと、もがく。

וְיִשְׁפֹּךְ עֲלֵימוֹ כְּפִימוֹ וְיִשְׂרָק עָלָיו מִמָּקוֹמוֹ: 23
 打ち鳴らす 彼ら-に-対して 其-手-を 其-手-を して-口笛-を-吹く 彼-に-対して 其-場所-から
 H4725 H8319 H3709

それは彼に向かって手を鳴らし、あざけり笑って、その所から出て行かせる。